

大井川芸術創生譚

UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川 2026 成果報告展

ぼいんぼいん山アートトレイルプロジェクト部門作品公募

募集要項



寺山（通称ぼいんぼいん山）山頂 ヒデミニシダ《境界の遊び場IV音の要塞》

静岡県島田市川根町抜里地区にある「寺山（通称“ぼいんぼいん山”）」を舞台にした ART TRAIL プロジェクトにて、設置アート作品の公募を行います。

「寺山（通称：ぼいんぼいん山）」は、島田市川根町抜里集落にある標高 268m、総距離約 3.8km の丘陵です。山頂には茶畑が広がり、大井川と抜里地区をのぞむ美しい風景が広がるこの小さな山は地域のみなさんの間でひっそりと愛されてきた場所ですが、当法人が主催する芸術祭「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川」をきっかけに、住民自らこの場所を観光資源として活用するハイキングコース（トレイル）の整備事業が始動しました。

こうした地域の主体的な動きにアーティストも呼応するかたちで、この地の自然や文化などを五感で楽しめる作品を制作・発表してきました。これにより、アーティストと住民の間に新しいつながりが生まれ、山の風景そのものが「記憶」と「交流」のトレイルとし

て、再構築されつつあります。

今回、「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川（以下の「はじめに」を参照）」において培ってきた地域との共創や風土との対話という価値観をもとに、“ぼいんぼいん山”を舞台にした新たなアート体験を創出するための公募です

▶ぼいんぼいん山アートトレイルについて：<https://x.gd/fEliX>



1. はじめに（芸術祭の背景と価値）

NPO 法人クロスメディアしまだが主催する「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川」は、静岡県中部を流れる大井川、その川沿いを走る鉄道の無人駅、そしてその駅から広がる集落の暮らしを舞台にしたアートプロジェクトです。

空き家、空き店舗が増え、祭りなどの人の営みの継続も難しくなっていく、「無人」と呼ばれるこれらの場所は、人口減少や過疎化、さらに近年のコロナ禍による人と人との分断により、ますます静まりゆく傾向にあります。この芸術祭では、そうした「無人」とされた地域の内側にある、人々の記憶や文化、風景に宿る希望の光を丁寧に掘り起こしてきました。そして、大井川流域の土地の力と人の営みの温かさと、アーティストの表現の力を結びつけることで、地域に新たな視点と誇りを生み出してきました。

この地域にとって「芸術祭」は、アートによる地域の再発見の場であり、来訪者や住民、アーティストのあいだに新たな関係性を生む時間＝“ハレの日”です。そしてその場からは、日常の暮らしそのものが輝きなおすような変化が確かに生まれています。

また昨年度実施した「UNMANNED EXHIBITION」及び今年度実施予定の「大井川芸術創生譚」は芸術祭という形を見つめ直しアートを手法に地域固有の価値を再発見することを目的とした地域芸術祭へのリニューアルのための取組です。

2. 求めるアーティストや作品のイメージ

- ・地域の風景・文化・人々の記憶を素材とし、その場所ならではの意味を紡ぎ出すアート作品。
- ・地域住民・サポーター・来場者に関わりながら、新たな交流や感情の動きを生む作品。
- ・過疎地とされる地域がもつ豊かさを、アートを通じて掘り起こし、誇りやつながりを取り戻す契機となる作品。
- ・そしてなによりも、土地の歴史、文化、景観、人々の声に耳を澄まし、地域を多面的・複眼的にリサーチする力をもったアーティストを歓迎します。表層的な演出にとどまらず、地域に根差した物語や見えにくい価値を発見し、表現へと昇華する力に期待します。
- ・地域との協働を重視し、制作・設置の過程において地域住民との関係性を育むことを志向したプロジェクト
- ・自然・文化・集落の歴史を丁寧に掘り起こし、土地の記憶と現在とをつなぐ視点をもった表現を期待します

3. 募集概要

(1) 採択件数

2 件（予定）

(2) 対象エリア

静岡県島田市川根町抜里地区

(3) 募集内容

- ・「ぼいんぼいん山」ハイキングルート上に設置可能なアート作品。
- ・作品そのものの条件（ジャンル、サイズ、素材、重量等）は特にありません。
（素材や作品設置に関しては屋外での設置となるため風雨を考慮したものとしてください）
- ・ハイキングルートは年間を通して愛好者が訪れる場所です。展示期間の終了後も継続して展示を維持できる作品を歓迎しますが、展示期間中のみ披露されるパフォーマンス作品でも応募可能です。

(4) 応募資格

アーティスト又はそれに準ずる創造的な活動を行っている個人、またはグループで、以下の条件を満たす方（主たる活動ジャンルは問いません）

- ・制作にかかわる全てをアーティスト自身の責任で実施すること。
- ・制作の成果として作品を「大井川芸術創生譚（UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川 2026 成果報告展）」で発表すること。
- ・制作や展示、撤収のスケジュールを厳守すること。
- ・主催者が企画するトーク、ワークショップ等のイベントに出演・参加すること。
- ・応募者、もしくはグループのメンバーが、平成 3 年法律第 77 号第 2 条第 6 号に規定された暴力団員ではないこと。（暴力団員でなくなった日から 5 年を経過していない者も含む）また、自己や第三者の不正な利益を図ったり、損害を与えたりする目的をもって暴力団または暴力団員を利用していないこと。

(5) スケジュール

募集期間：2025 年 8 月 1 日（金）～9 月 6 日（土）当日消印有効

制作期間：公募決定から～2026 年 2 月 6 日（金）まで

展示期間：2026 年 2 月～3 月（予定）

(6) 事務局からのサポート

- ・作品制作費として 200,000 円（税込）
※作品の搬入搬出、撤収および展示設営に係る経費、交通費、食費は自己負担となります。

※現地での滞在や制作をご希望の場合は、当団体で運営する宿泊施設を無償（上限 30 日間、それ以上は一泊 2,000 円）でご利用いただけます。（アトリエ併設、予約制）

▶アトリエ＆ゲストハウス「ヌクリハウス」：<https://nukuri-house.unmanned.jp/>

4. 応募

(1) 提出物

- ① 応募用紙（様式 1）
- ② 作品提案書（様式 2、様式 2-2）

※会期中に変容する作品や日程を限定する公演を行う場合は、その旨を「作品提案書」にご記載ください。

※設置場所は、採択後にアーティストと主催者が協議の上決定しますが、特に希望する条件があれば、「作品提案書」にご記載ください。

- ③ 経歴書、参考作品などプランの参考になる資料（様式任意）

(2) 提出方法

メール、郵送、持込のいずれかの方法

(3) 提出先

NPO 法人クロスメディアしまだ（UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川事務局）

住所：〒427 - 0029 静岡県島田市日之出町 4-1

電話 & FAX：0547 - 39 - 3666（コワーキングスペース C-BASE）

※提出物は返却いたしません。本事業終了後に厳重なる注意のもと廃棄します。

(4) 提出期限

2025 年 9 月 6 日(土) 当日消印有効。持込及びメールの場合は 17 時まで

(5) 審査方法

- ・一次審査通過者においてはメールでその旨を連絡し日程調整後二次審査を実施します。
(二次審査はオンライン)

(6) 選考結果

- ・応募くださった全ての方に郵送にて結果を送付します（10 月上旬＊予定）
- ・決定者は UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川公式 HP に掲載します。

(7) 応募に関する注意事項

- ・現地見学会などは予定しておりません。作品プランにあたり、必要な情報や資料、質問などは、可能な限り対応いたしますので、メールか FAX いずれかの方法で事務局までご連絡ください。
- ・お電話による個別の質問には応じられませんのでご了承ください。

5. その他注意事項

- ・いただいた個人情報は、本公募に関する連絡のためにのみ利用します。応募用紙で情報提供を希望される場合を除き、応募者の個人情報を正当な目的以外に無断で使用することはありません。
- ・作品および作品プランの著作権はアーティストに帰属します。
- ・作品プランのドローイングや作品の写真は、事務局が必要と判断した広報物に画像データとして無償で提供されます。

- ・本プロジェクトは屋外展示のため、常時会場に監視員等が配置されるわけではありません。盗難に遭わない展示方法を心がけるなど、作品の管理に関してアーティストが主体的に取り組んでください。
- ・来場者・鑑賞者の安全性が確保されたものを制作・展示してください（危険性の高い作品の設置は認めないこともあります）。
- ・展示中、自然災害や不可抗力によって作品が破損した場合の修復は、主催者や地域の協力団体、アーティストの間で逐次協議の上、対応します。

【主催・お問合せ先】

NPO 法人クロスメディアしまだ（UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川事務局）

〒427 - 0029 静岡県島田市日之出町 4-1

電話 & FAX：0547 - 39 - 3666（コワーキングスペース C-BASE）

E-mail：info.unmanned@gmail.com

■UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川公式サイト

<http://unmanned.jp/>

UNMANNED
無人駅の芸術祭／大井川
Unmanned Station Art Festival, OIGAWA